

## 令和元年度練馬区幼保小連携研修会の開催実績について

## ○ 研修会概要

開催時期等	管理職対象：令和元年6月18日（火） 担任職員対象：令和元年8月5日（月）、6日（火）
内容	1 講演 【主題】幼保小連携の理解を深めるために ～「ねりま接続期プログラム」に基づいて～ 【講師】上智大学 総合人間科学部 教育学科 教授 酒井 朗  2 意見交換会

## ○当日配布資料（別紙）

## ○参加校（園）数

【6月18日（火）】

	校(園)数	出席校(園)数	出席率(%)
区立幼稚園	3	3	100%
区立保育所	60	56	93%
区立小学校	65	55	85%
私立幼稚園	39	15	38%
私立保育所	100	67	67%
認証保育所	17	5	29%
計	284	201	69%

※参加者数：201名

【8月5日（月）、6日（火）】

	校(園)数	出席校(園)数	出席率(%)
区立幼稚園	3	3	100%
区立保育所	60	59	98%
区立小学校	65	48	73%
私立幼稚園	39	21	53%
私立保育所	100	65	65%
認証保育所	17	2	12%
計	284	198	67%

※参加者数：271名

## 研修会アンケートまとめ（主な意見）

### 項目1 本日の講演について

#### 【幼稚園】

- ◆「ねりま接続期プログラム」を今後は園内でも教職員に周知していきたい。
- ◆酒井先生の話聞いて、「ねりま接続期プログラム」の良い活用法が理解できた。
- ◆プログラムの解説が、とても現実に即しており、納得することができた。
- ◆本区でこのような0歳からの育ちを踏まえた指針ができたことは素晴らしい。
- ◆今後はプログラムを活用した保育を行い、保護者にも伝えていきたい。

#### 【保育所】

- ◆実際にプログラムの作成に携わった先生の話聞いて良かった。
- ◆プログラムを使い、職員と学びを深めて連携をはかっていきたい。
- ◆今日の講演をもとに、接続期プログラムの更なる活用を考えたい。
- ◆家庭との連携の大切さを改めて考える機会となった。

#### 【小学校】

- ◆幼保との繋がりを意識してプログラムを組んでいくことが大切だと感じた。
- ◆接続期プログラムが、発達段階に応じてきめ細かく作られていることが分かった。
- ◆保護者との連携の大切さがよく分かった。
- ◆発達段階に応じて、その時期ごとに育てなければならない子どもの特性が分かった。

#### 【認証保育所】

- ◆プログラムを園の保育と共通理解できるように園内研修などに活用したい。
- ◆幼保小の考え方を広く学ぶことができた。0歳からが大切だということを再認識した。

### 項目2 意見交換会について

#### 【幼稚園】

- ◆支援シートや就学相談、小学校のクラス分けのことを聞くことができた。
- ◆現在の保育園、小学校の実情を聞くことができて、良かった。
- ◆支援の子供たちの指導のつなぎ方が話題になった。悩みは一緒だと思った。

## 【保育所】

- ◆色々な園や小学校の話を自分の園での問題と比べることができて、参考になった。
- ◆近隣小学校の話を聞く機会がなかったので、参加してよかった。
- ◆普段交流できない先生方と話ができる機会を持つことができた。

## 【小学校】

- ◆学校と園の連携の大切さを話し合うことができた。
- ◆幼稚園、保育園での現状や保護者の傾向等を伺うことができた。
- ◆課題を意見交換の中で出し合い、一歩踏み出すことで大切な連携となるのだと感じた。
- ◆幼稚園・保育所の先生方と交流ができて良かった。

## 【認証保育所】

- ◆色々な園や小学校の先生と話ができる機会が普段はないので、参加して良かった。
- ◆自園は地元の小学校に入学する子がほとんどである。今後も地域の実情に合わせた連携を続け、円滑な接続ができればと思う。

## 項目3 企画に対する意見・要望について(研修会の内容、講師選定など)

### 【幼稚園】

- ◆幼・保・小 体験交流の場があると、意見交換よりはるかに学ぶ場になると思う。
- ◆幼保のみの研修会があっても良いと思う。

### 【保育所】

- ◆講演もわかりやすく参考になった。講演とグループ討議の内容でよい。
- ◆発達障害の子についての関わりを詳しく学びたい。
- ◆意見交換は連携に有効だと思うので、引き続き行いたい。

### 【小学校】

- ◆年々増加している学校に不適應を起こしている子に対する対応法を伺いたい。
- ◆暑さやアレルギー、ウィルス対策等がとても過剰になっている気がするが、幼少時からの健康教育や、体作りについての話が聞きたい。

## 【認証保育所】

◆「ネグレクト」の話があったが、共働き家庭以外にも、余裕のない保護者が増えているように感じている。貧困問題もからんでくると思うが、保育園や幼稚園、小学校でできることを合わせて、社会的な問題とも合わせて考えているのか知りたい。

## ○令和2年度幼保小連携研修 講師案

### 【6月】（管理職対象）

砂上 史子（千葉大学 教育学部教授）

「非認知能力の重要性とそれを育む援助」

### 【8月】（担任対象）

米田 典子（泉新小学校 校長）

スタートカリキュラム、指導要録・保育要録の活用について

→来年度は管理職対象と担任対象で別々の講演を行う。